

閉会中の活動報告

● 産業建設委員会 ●

◆ 行政視察 長良川木材事業協同組合（郡上市）



産業建設委員会では、調査研究事項に掲げている重点政策課題の「木のまちづくり」について、岐阜県郡上市白鳥町にある長良川木材事業協同組合を視察し、地域の製材機能について調査しました。

長良川木材事業協同組合は、旧長良川ウツの拠点に国内最大手の中国木材（株）が進出して設立された施設で、100,500平米の広大な敷地で64名の従業員（うち約70%が地元採用）が国産材（杉、桧）の製材・乾燥・加工・出荷業務を行っています。

年間製材量は約8万立米の規模を誇ります。同工場ではほとんどの製材工程が自動化されており、この徹底した合理化が針葉樹製材における高い採算性を実現しています。

一方で、広葉樹については取り扱いがなく、大手資本の参入意思がないことも明らかになりました。昨今、木工産業を中心とした川下における地域の広葉樹材ニーズが高まっており、川上・川中・川下の連携による地域材の活用・高付加価値化の仕組みづくりが求められます。

今後は、飛騨市の広葉樹活用推進コンソーシアム等の先進的な取組を参考に行政によるバックアップ体制を整えることが重要と考えます。地域特性を活かした質重視の事業モデルへの転換を図り、新たな可能性を追求することで、持続可能な林業・地場産業へとつなげていく必要があります。

この視察で得た知見を活かし、引き続き木のまちづくりについて調査研究して参ります。

● 産業建設委員会 ●

◆ 分野別市民意見交換会

産業建設委員会では、9月から10月に各支所地域の観光協会と、また、11月に高山市建設業連絡協議会、12月には高山市農業委員会と分野別市民意見交換会を開催しました。

各支所地域の観光協会とは、市が策定した「観光を活用した持続可能な地域づくり方針」を踏まえて、観光や観光協会の現状と課題、観光資源の活用、宿泊税の導入などについて意見交換。特色ある魅力的な地域資源を活用して事業展開したくても、旅館民宿など会員が大幅に減少する中で事業実施の財源確保もできず、現在の補助金等の支援では事務局職員の人件費すら賄えない状況や、宿泊税導入による使途に期待する声なども伺いました。

建設業連絡協議会とは、建設業の現状と課題について、農業委員会とは、農林畜産業の現状と課題などについて意見交換を行いました。

産業建設委員会では、市に課題等の改善を働きかけるとともに、観光については政策提言へ向けて調査研究を進めています。

